

市長のあまねくつぶやき

〈十年今昔〉市制施行10周年を迎えて

平成17年に「ALWAYS 三丁目の夕日」という映画が大ヒットしました。この映画は、昭和33年の東京、高度経済成長期が始まろうとしていた時代、夕日町三丁目に暮らす人々の交流を描いた作品です。その年に東京タワーが建設され、映画のシーンに建設中のタワーが映し出されていて、当時を象徴する場面でした。続編となる平成19年の「ALWAYS 続三丁目の夕日」では、我が行方の天王崎公園が撮影現場として使われました。

他にも、日本テレビで放映された「35歳の高校生」の撮影には旧麻生中学校の校舎が、松村克弥監督作品の映画「天心」では大場家住宅が使われました。同監督の最新作「サクラ花」においても市内で撮影が行われています。行方市は映画やドラマの撮影現場として使われることが多く、自然の風景や文化財などが数多く存在し都心から近いこともあって、さまざまな撮影に適していると思います。

しかし、この良さを市民がどれくらい知っているのだろうかと思うことがあります。そのことに気付き、正しく伝える技術を学ぶため、今年度から、地域メディアア

ロドユーザー育成講座を開始しました。一般の方だけでなく、地元の高中生にも参加してもらっています。

市内にはたくさん自然、文化、歴史、伝統、仕事など素晴らしいものがあります。それを多くの人に知ってもらいたい。それには、「伝える」ためではなく「伝える」ための技術が必要になります。まず、「伝える」ためには、市内の良いところに「気付き」ところから始めなければなりません。

市内に良いところなんて無いと思っいるかもしれませんが、多くのメディア関係者がこの地を訪れ撮影をして行きます。我々からすれば日常の事かも知れませんが、来訪者からするとすごい事なのかもしれません。まずは、ちょっととした事から、行方市の良いところを発見してみたいかがでしょうか。

行方市長 鈴木周也

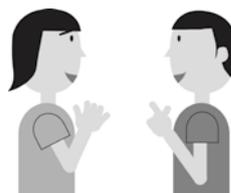


市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せ
ください。

はい、こちら行方市消費生活センター！



「年金情報流出」を口実にした犯罪にご注意ください!!

日本年金機構における個人情報流出に関連して、「あなたの年金情報が流出している」「流出した年金情報を削除できる」などといった不審な電話に関する相談が寄せられています。

電話に限らず、「年金支給額の変更に関するお知らせ」といったタイトルの不審なメールが送られてくるケースも見られます。また、日本年金機構だけでなく、消費生活センターや市役所などの公的機関になりすまして、何らかの情報を聞き出そうとしてきたり、金銭を要求してくる悪質なケースもあります。

「個人情報を削除してあげる」などと持ちかけてくる電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。また、年金に関する不審なメールが送られてきても、安易に開かないようにしてください。少しでも不安に感じたら、一人で悩まず家族・友人・消費生活センター、または日本年金機構専用電話窓口かお近くの年金事務所へご相談ください。

○日本年金機構専用電話窓口 0120-818211

受付時間 午前8時30分～午後9時（平日および土日）

— まずはお電話を! —

【問い合わせ】行方市消費生活センター Tel 0291-34-6446